

# ふくしま



# 医療生協

発行所  
福島医療生協

2019年 **新年号** 第397号  
発行責任者 渡辺 幸夫  
<http://watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いいの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字塗谷地20-1

一人は万人のために、  
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります



## あけまして おめでとうございます

### 創立50周年の年に更なる広がりを



福島医療生協  
理事長  
丹治 伸夫

あけましておめでとうございます。

今年には福島医療生協創立五十周年の年です。福島診療所に始まり、私たちの拠点を作るう！と渡利に診療所をつくり、今のような大きな組織になりました。三万人の組合員組織など当時は夢物語でしたが、みんなと力を合わせ、職員を増やし、組合員を増やし、班を増やして

きました。苦勞はしましたが、医療生協を大きくすることがとても楽しく、達成感がありました。

今後、三万人の組合員組織を四万、五万と増やしていけば、組合員要求がその分強くなり、それに応えるために、職員も変わるし建物も変わっていきます。何が変わるのか楽しみで仕様がありません。

医療・福祉・介護への要求は拡大しています。現状にあたふたしている場合ではありません。健康で安心してくらせるまちづくりのために、多くの人が、組織と連携し、医療生協の活動を広げていきましょう。

### 新たな研修医と無差別平等の医療介護を進めます



医療生協わたり病院  
院長  
遠藤 剛

組合員のみなさん、あけましておめでとうございます。

昨年は看護体制の困難などにより、一部入院を制限せざるを得なくなりました。ご迷惑をおかけいたしました。

今年には新たに二名の研修医を迎える予定です。研修を充実させながら、私達民医連の役割である、①

貧困に立ち向かう無差別平等の医療介護を進める。②組合員、患者さんと協同の営みとしての医療活動を進め、医療安全などの質の向上を図る。この二つにさらに力を入れて取り組んでいきます。

また、今年には安倍内閣が憲法改悪の暴挙をまさに進めようとしています。私たちは原発事故を風化させることなく、戦争政策に反対し、平和を守り抜く活動をより進めていかなければなりません。

福島医療生協創立五十周年の年です。共にがんばって行きましょう。

# 新春座談会

## 創設期の話を聞いて、未来を考える



司会…今年には福島医療生協五十周年の年という事で、今までを振り返りつつこれから私たちの展望を語り合いたいと思います。まずは最初に平さんから創設時の話をお願いします。



平範男さん

福島医療生協元理事長、創設時から当生協の活動に尽力。

民医連(注2)の「患者の立場に立った、いつでも、どこでも、だれでも、無差別平等の医療」を求める運動が始まり一九六九年に福島医療生協を創設し、一九七〇年に福島診療所を開設することができました。初代所長には草間医師に決意してもらい、福島医大からあとに続く丹治先生をはじめとする若手医師の結集もつくられました。

患者が納得する医療、患者の話をよく聞く医療は当時珍しかった。私たちの診療所は闘病の中心は患者であり、医療従事者は患者を支え共同して病気を治すという姿勢でした。みんな本当に頑張ってきたんです。

北で救急車がたらい回しにされ患者が亡くなる事件があり、「なんのための救急病院」というような批判の新聞記事もありました。救急輪番制で患者を受け入れる体制がない時代でした。

そのような中、労働組合、商店、農民など地域の方々や坂病院(民医連加盟の病院)を受診した松川事件(注1)の被告の方々などの呼びかけで、福島で遅れていた

われまいたか。

国井…出発点は地域住民の要求からなんでしょうね。そこは強く感じました。私は福島県民医連の奨学生だったので民医連運動の成り立ちなどは聞いていましたが、医療従事者以外の多くの方々の想いが力になったんですね。特に松川事件とのつながりは初めて聞きました。歴史的な背景がつながりました。現在、救急医療体制はだいぶ整備されましたが、いまだに経済格差・医療格差があります。これからの課題ですね。



国井綾医師

わたり病院医師  
日本プライマリ・ケア連合学会認定「福島県民医連総合診療・家庭医養成プログラム」専攻医

びました。医者になるというのとわたり病院で働くというのが一緒に、小さい時自分か過ぎて知っている人もいる所で働きたかった事もありました。

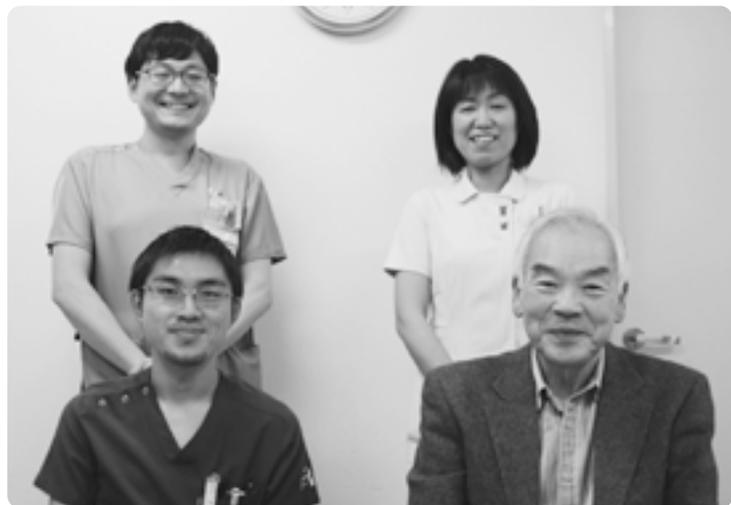
高橋…私の母がわたり病院で働いていたのが、私もお世話になるきっかけでした。弱者に寄り添ったり、手が差し伸べられない見放されてしまう人たちの力になりたいと思って、考えが合う民医連病院を選

後藤…私も教育担当になってから、改めて福島医療生協の成り立ちの話を伺い

注1 松川事件は、一九四九年に福島市松川町の東北本線で起きた列車脱線転覆事件(機関士など三名が死亡)。(機関士など三名が死亡)。

注2 全日本民医連は、一九五三年結成以来、「いのちの平等」を掲げて活動する団体。福島医療生協が一九六九年七月に設立しましたが、それまで民医連のない九つの県の一つだった。現在、北海道から沖縄まですべての都道府県に医療介護福祉の事業所があり、その数は一千七百ヶ所を超えている。福島医療生協の各事業所も加盟している。

ました。安心してかかれる医療機関が欲しいと、千円の出資金が出せないから百円ずつ積み立てをしていった日雇い労働者の方々の話とか。この病院があったたり前と違っていましたが、みんなで支えながら、少しずつ大きくなっていったのだと痛感します。職員に「うちの病院は大変な患者さんが多いよね」と言われるけど、その理由と重みを伝えなくてはいけないと思います。「みなさんの日常の看護ひとつひとつが、患者さんにとって光を与えているんですよ」って。



◆座談会参加者

平 範男 (福島医療生協元理事長)

国井 綾 (わたり病院医師)

高橋 剛 (わたり病院医師)

後藤 里美 (わたり病院看護長)

司会: 松崎 聡 (組合員活動部)



司会: 患者さんの暮らしを支える医療活動や、社会保障運動を多くの組合員と職員に理解してもらうのは大事ということですね。

平: わたり病院は差額ベッド料を今でもとらないで頑張っているし、付き添いをつけなくても入院できる病院として頑張ってきたんだよね。

国井: 社会保障充実の声を上げつつ、組合員・患者さんの増やして私たちの存在感をアピールしていかないと。そこが、突破口ですかね。三十周年記念誌を見るとすごく勢いを感じますが、今は少し元気がなくなっている感じがします。

高橋: 一人一人が、日頃感じる矛盾に向き合い、自分たちの仕事も生活も良くするにはどうすればよいかを考えて、その想いを共有する機会があれば活動や運動を主体的に進めなければならぬ。これから入ってくる

研修医にも、医療職としてどう共鳴してもらうかが大事ですね。

後藤: 団結しづらい、横のつながりが作りづらい世の中、熱い思いを持っている人は多いと思うんですよね。組合員も職員も自分の考えをどんどん出し合うことが大事ですね。

司会: 二〇一一年には、東日本大震災と原発事故がありました。私たちの組織に与えた影響はどうだったのでしょうか。

平: 創設期から病院建設、増改築など医療福祉の様々な事業に全力で努力してきました。しかし、二〇一一年の東日本大震災によってマイナスからの再出発になってしまったと



後藤里美看護長  
わたり病院看護部教育担当看護長

後藤: 子どもが生まれてから、子どもの貧困や虐待についてよく考えるんです。母子家庭のサポートなどを通じ



高橋剛医師

わたり病院医師  
日本専門医機構総合診療領域「福島県民医連総合診療専門研修プログラム」専攻医

て、子どもが健康やかに育つ健全な社会にしたいです。弱い立場の人に手を差し伸べられる病院であり続けたいですね。

高橋: 昔、総合病院化を目指していたということも、三十年誌で読みましたが、いいなあと思いました。いろんな科の先生がいるっていいなあ。スタッフも増えたら、是非、よろず相談のような『貧困外来』なんてやってみたいですね。

国井: 各職場で改善プロジェクトを進めていきたいですね。職場の充実を図りつつ、心のゆとりを持ちながら、いきいき働く職場にして若手を支えていきたい。医学生奨学生も増やしていきたいですね。小児科が大変なので小児科、産婦人科の医師も増やして整形外科も: そうしたら総合病院になりますね。

福島医療生協創立50周年

昔の福島医療生協の病院診療所や組合員活動の写真がありましたらお寄せ下さい。

今年は福島医療生協創立50周年の年になります。様々な企画を組合員と職員と一緒に準備している所です。

改めて今までの歩みを振り返り、前進とその努力を祝うとともに、地域の情勢と要求をふまえて、これからの私たちの役割、めざす姿、夢を共有したいと思います。

つきましては、みなさんのお宅にある福島医療生協に関する写真や資料がございましたら、ぜひお寄せ下さい。スキャンしてから写真資料はお返しいたします。記録として保存するとともに、記念誌などに使わせていただきます。

実行委員会でご企画が具体化しましたら、随時皆さんにお知らせいたします。

ご協力お願いいたします。

健康まつり 9/8(日)  
場所: 青少年会館

レセプション 2020年春



飯野支部



飯野 信一

二〇一八年も「いいの川俣健康まつり」をたくさんの方と協力して頑張りました。二〇一九年は五十周年の健康まつりに向けて一緒に頑張りたいです。

清水南支部



久保田喜代

清水南支部では、機関紙配布に力を入れています。震災時には四八%しか配布できていなかったのですが、今では八〇%まで上がりました。今後も多くの組合員さんに配布できるよう頑張ります。

清水北支部



山内マサ子

清水北支部では、バスハイクや新春のつどいなどの交流イベントを通して組合員の交流を深めています。今後も、すこしおや健康チャレンジの取り組みを支部で広げ、健康づくりの輪を広げたいです。

川西支部



伊藤美智子

川西支部では、やまぼうしの会をはじめ、健康教室など健康づくりに力を入れていきます。なかなか広めることは難しいですが、自分たちの笑顔をまわりの人達にも伝えて大きな笑顔の輪を作ってゆきたいと思っています。

あづま支部



今野 幸廣

今、あづま支部は運営委員が中心となり、担い手になって頂くための働きかけをしています。今後も日帰り旅行や新年会を通して組合員の皆さんと親睦を図りたいと思います。

松川支部



佐久間金吾

私たちは、「みんな元気。組合員みんなの医療生協に。」を合言葉に機関紙配達や班会、健診など様々な活動をしてきました。今年もたくさんの方の力を借りて健康づくりに頑張りたいと思います。

もちずり支部



和合 周一

常に組合員に依頼し、あせらず、くさらず、怠らずをモットーに、「健康つくる・平和をつくる」のち輝く社会をつくる」の理念の実現に寄与します。

杉妻支部



末永 保男

杉妻支部では、通信教育に力を入れていきます。答え合わせをやる際には賑やかに和気あいあいとなります。今後は、班づくりにも力を入れ、楽しい支部にしていきたいと思っています。

# 新年あけましておめでとう ございます!

## 19支部長からのメッセージ

### 組合員のパワーを受けて五十年



いい診療所 所長 松本 純

今年、私が医学生生時代に始まった医療生協が五十周年を迎えます。組合員さんの力で診療所から病院にと大きな発展を遂げた五十年でした。何もな

い所から、将来に対する夢を広げて、ここまで来ました。組合員の地域活動のパワーを受けて、医師としての今があると感じています。これからできる限り、組合員さんと共に医療活動を続けていきたいと思っています。今年もよろしくお願いたします。

### 健康寿命を延ばしましょう



ふれあいクリニック さくらみず 所長 佐藤 勝

昨年の元日は当番日で、インフルエンザの患者さんが多く、夜の八時近くまでかかってしまいました。今年には成人の日が当番です。頑張ります。

日頃の自転車通勤で、体力があると自負していたのですが、先日、十分ほど走ったところひどく息が切れ、足の疲れも感じました。みなさんも生活習慣を見直し、健康寿命を延ばしていきましょう。医療生協五十周年の年、よろしくお願いたします。



松川支部 バスハイク



清水北バスハイク



霊山宮内班結成



川俣支部

二〇〇〇年から取り組んでいる元氣班会が支部の毎月の行事です。様々なテーマや要求の実現に支部内の各地域の班会を大切に、仲間との絆を深めたいと考えております。



中央支部

中央支部では、地域訪問や誕生日訪問に力を入れていきます。未だ、繋がりが持っていない地域が多いのが現状ですが、今後は、訪問活動を通して担い手増やしや班づくりを進めていきたいです。



東支部

今、東支部ではウォーキングが定例になってきています。仲間とおしゃべりをしながら四季を楽しみます。今後も楽しみを取り入れて楽しい班づくりができることを望んでいます。



平野余目支部

現在把握している班会は十四ほどですが、定例化しているのは半数ほどなので、その他の班の開催回数が増加と、さらに新しい班会づくりにも取り組んでいきたいと思っております。



霊山支部

霊山支部では、グラウンドゴルフ大会や納会、町で行われる健康フェスティバルの参加など様々な活動を行っています。来年も組合員みんなが楽しみに待つような支部にしたいと思います。



大笹生笹谷支部

今、私たちが取り組んでいることは誕生日訪問です。みなさん心よく受け入れてくださり、私たちが元気をもらっています。今後は、一人暮らしの方たちをバックアップできるように頑張りたいです。



鳥川平田支部

鳥川平田支部では、十四年目になる太極拳教室や、支部行事を通して組合員さんとの親睦を深めてきました。五十周年を迎えるにあたり、若い役員さんを迎えて、心機一転世代交代の年にしていきます。



二本松支部

二本松支部は、署名活動に力を入れて活動をしています。二本松からわたり病院は遠方のため行く機会は少ないですが、今後も署名活動に力を入れながら協力したいと考えています。



保原支部

今支部で取り組んでいることは、よろずサークルや班会、健康づくりチャレンスの普及です。今後は、組合員の実態を把握しつつ、各団体と連携して健康づくりや良いまちづくりに貢献していきたいです。



南向台支部

私たち南向台支部は、福島医療生協で一番小さい支部です。二年前から定例で支部運営会議も開き、地域で様々な取り組みについて、話し合いました。これからも、みなさんと力を合わせ、元気で活動していきたいと思っております。



大森永井川支部

私たちは、一昨年から誕生日訪問をはじめました。訪問先では、多くの方に喜んで頂くことができ、私たちも元気づけられています。訪問した様子なども運営委員会で報告しつなげていければと思っています。



渡利支部

週に一回のももりん体操では、組合員の方だけでなく、地域の様々な方が参加するようになり、交流を楽しんでいます。今後は、地域のスーパーでの健康チェックを通して地域に溶け込んだ支部になりたいと思っております。



飯坂支部

飯坂支部が長年取り組んでいることの一つは、地元スーパーでの健康チェックです。地域の皆さんの健康づくりに一役担っていると自負しています。今年、誕生日訪問にも取り組んでいきたいと思っております。



蓬萊支部

昨年の蓬萊支部主催の健康まつりは無事に二十五回目を迎えました。今後は、新聞の宅配りさん増やして、交流の場として組合員センター利用者が増えればよいなと思っています。



吉井田支部

吉井田支部では、通信教育で「生協とは」を学びながらゆつくり歩んでいます。今後は、小さな困りごとを遠慮なく相談できる支部になり、「向こう三軒両隣」で多くの班があるような地域になりたいと思っております。

# 2018年の医療生協活動あれこれ



10.11国民集会



あづま支部バスハイク



さくらみず健康まつり



わたり元気まつり



WHO健康ウォーク



いいの川俣健康まつり



ひだまり祭り



吉井田学習センター文化祭

# ごみ問題を考えよう…

## 荒川クリーンセンター見学

### 環境保全ネットワークふくしま県北会議研修会

10/29に環境保全ネットワークふくしま県北会議の研修会を行いました。JAふくしま未来、コープふくしま、きらり健康生協、福島大学生協と当法人で構成する団体で、毎年環境問題についての研修会や学習会を行っています。



す。今回は、ゴミの分別減量についての話を聞いた後、荒川クリーンセンターの見学をしました。参加者は五十人で、福島医療生協からは十四人の参加でした。

福島市は一人当たりのごみの排出量が全国トップクラスで、減量について努力しているという事でした。職員の方々の分別作業の大変さを間近でみて、家庭からのゴミ出しの時の分別がとても大事だという事を参加者全員が痛感しました。

#### 参加者からの声

- 福島市のごみの量が多いことにショックを受けました。
- 一人一人のモラルが大切です。みんなが関心を持つたらゴミが減らせると思います。
- 近代的な生活に慣れた今、地球環境の大切さ温暖化の問題を一人一人が考えなくては。
- 知らなかった分別の仕方は、近所の方にも教えてあげたいです。
- レジ袋完全廃止など考えるべき。
- 職員の方が手作業で分別している姿を見て、驚きとともに反省させられました。
- 職員の労災につながるものは絶対に出さないモラルが市民の側に必要。

# 訪問活動で感動しています！

大森永井川支部 支部長 八島 享子

一昨年十一月から八十五歳以上の組合員さんの誕生日にささやかなプレゼントを持って訪ねる活動を始めました。お宅に伺って話をすると「なんとか自分のこと

はできるよ！」とか笑顔でおっしゃる方もいらっしやいました。デイサービスに行っていて本人と会えなくても、家族から日常の様子などを聞くことができました。みな

さん大変喜んでいただき、訪ねる私たちも嬉しくなります。訪問することで「わたりのよ」などのお話を聞くこともでき、活動を始めて良かったと思っています。笑顔に出会える訪問活動をもっと広げていきたいと思えます。

# すべての子どもたちに 明るく未来を☆

## 第十六回全日本民医連小児医療研究発表会

わたり病院事務次長 渡辺 啓子

九月十六日(日)から二日間、わたり、コラッセふくしまにて、第十六回全日本民医連小児医療研究発表会が開催され、全国から百七十名が参加しました。右記のタイトルは実行委員長である、北條医師が考えたものです。二

年に一度の全国規模の研究発表会で、今回はわたり病院が主幹となり企画運営を行いました。

### ● オプション企画

前日の午後から被災地見学を行いました。三十六名の



参加者で、川俣町山木屋、浪江町津島、飯館町、最後は渡利のさくら保育園を見学。パスの中では、震災当時子育て中の職員の体験談や、いいの診療所松本医師、県連事務局長鈴木さんからのお話がありました。

### ● 研究会 一日目

午前は、小児科医・研修医・医学生を対象に、「これからの時代の小児医療のあり方」についてシンポジウムを行いました。午後からの記念講演では、わたり病院齋藤紀先生から「福島第一原発事故から七年を経て」、千葉大学予防医学センター教授近藤克則先生から「健康格差社会への処方箋―子ども達と子育て世代を中心に―」という題のお話がありました。

指定演題では、「子どもの貧困問題での共同の広がり」を長野の健和会病院医師から、「ワクチン接種の遅れ遅れ対策とSDH(健康の社会的決定要因)の視点の大切さ」を香川のへいわこどもク

リニック看護師から、それぞれ研究の発表がありました。

### ● 研究会 二日目

六つの分散会に分かれ、各研究の発表を行いました。全国、小児医療に関わる職員の発表は、どれも素晴らしいものでした。

今研究会を通して、子どもの貧困問題、そして福島が抱える子どもの問題を共有し、医療従事者として、これから自分達は何ができるのかと考える、よい機会となりました。



ちょっといい話 7

復活を告げたAさんの話

訪問看護 やまなみステーション 加藤 仁美

わたり病院 耐震工事のお知らせ

今回、わたり病院の北棟は、国の制度の防災拠点建築物の位置づけから耐震診断を行った結果、耐震補強の必要性の指摘を受け、国の補助金を活用して耐震補強工事を行うこととなりました。工期は2019年に入ってから、一年程度の期間が予定されます。主に北棟1階の健診課や売店周辺と北4階などを予定します。詳細につきましては、わかり次第お知らせします。(耐震診断で直ちに倒壊の恐れがあるとの指摘ではありません。また南棟は、耐震工事の必要はありません。)

わたり病院事務長 庄司三法



関東出身のAさん(五十才男性)は、福島での除染作業の際に体調を崩され、一時的に透析をするなど大変危険な状態でした。奇跡的にも一命を取り留め、入院先のケースワーカーの力を借りて、生活保護の申請や住居の準備、家財道具一式を揃えるなどして、訪問看護やまなみステーションの担当地区に住むことになりました。体力が落ち、話す人もいない知らない土地での独居生活が始まりました。自然と飲酒量も増え、交流がなくなり部屋でこたつから出ない生活の中、低温火傷で入院しました。入院中に

火傷は完治せず、退院時から訪問看護が導入され、Aさんとのかわりが始まりました。毎日訪問しましたが、訪問の度に「死に方を教えてほしい。一人は淋しい。生きていても仕方がない。」などの言動が多く、表情は暗く本当に自殺してしまうのではないかと不安な時もありました。この二年半の間に、Aさんは軽い脳梗塞を発症し一緒に救急車に乗って病院に行くことや、生活保護費を紛失して今日食べる物もなく苦しい日々もありました。部屋にたまったゴミなどまとめ、大掃除をしたこともありました。

しばらくして、Aさんの信頼関係は徐々に深まり、少しずつ笑顔も増え「このままではダメだ。働きたい。」という言葉が聞かれるようになりました。そこで、おにぎりを作り販売している就労支援施設へ一緒に見学に行き、職員の話聞きました。「Aさんにもできる仕事を一緒にみつめて頑張りましょう。」と力強い励ましを受け、施設で働くことになりました。それから半年が過ぎましたが、Aさんは30kgの米、10kgの糠床を運び、今では糠漬けを担当して売り上げ上々だそうです。やまなみステーションのスタッフは時々Aさんの働く施設に行き、おにぎりを買って様子を見ています。

新春 オススメ映画・演劇

演劇 トム・プロジェクト公演 『萩咲く頃に』



親は子どもの幸せを願い、子どもは親の期待に応えたいと頑張る、けれどすれ違ってしまいうことも…。大震災をきっかけにバラバラになった家族が、数年たち、関係を修復しようとする、秋のある一日を描く作品。

心の機微が丁寧に描かれ、観劇後は自分の家族にも思いを馳せながら温かな気持ちになりました。新年の最初の一本としてお薦めのお芝居です。

- ◆作・演出／ふたくちつよし
- 出 演／音無美紀子 大和田獏ほか
- ◆日時…平成31年1月26日(土) 6:30 27日(日) 1:30 28日(月) 1:30
- ◆会場…福島テルサFTホール
- ◆お問い合わせ…福島演劇鑑賞会 Tel. 024-523-3836
- ◎どなたでも入会できます…入会金1000円 月会費2400円(大学生1500円・高校生以下500円)

映画 パッドマン 5億人の女性を救った男

監:R・パールキ (2017/インド/2h17)



カースト制度や性差別が当たり前だったインドではついこの間まで、女性に対するさまざまな不条理な扱いはびこっていました。生理になると「穢れた存在」として扱われ、家の中で寝ることを許されない。生理用ナプキンは高価すぎてほとんどの女性を買えず古布を使わざるを得なかった。そんな時代に終止符を打ったのは…。

この映画は妻の健康に不安を抱いたことが動機となり、それから血のにじむような研究と周囲の白い目にさらされながらも安価なナプキンを作ることに成功したラクシュミという一人の男の物語。さらにそこから思いも寄らない感動の展開が用意されている映画なのです。これ全て実話！まさに「事実は小説よりも奇なり」の、今やハリウッドを上回る勢いの映画大国インド映画の底力を感じていただける傑作です。

2019年1月14日より上映

- ◆お問い合わせ／フォーラム福島 Tel. 024-533-1717

# 第5回 禁煙ポスターコンクール

福島医療生協「禁煙ポスターコンクール」も第五回目となりました。

十一月三十日〜十二月二日にコラッセふくしま五階で展示会を行いました。

今年は昨年よりさらに増え、二十八校から四百二十一作品(昨年の一・五倍)の出品がありました。きれいな作品、かわいいい作品、ドキッとするような作品、子どもならではの素晴らしい作品ばかりです。全ての作品は、日本医療福祉生協連の禁煙ポスターコンクールに出品いたしました。

来場者は、子ども達の絵に感激し笑顔の方々がかりました。家族に「禁煙しないでだめだね」と言われているお父さんもうらっしゃいました。

※わたり病院では、禁煙外来も行っております。子どもたちのポスターを見て禁煙を考えている方は、ぜひお問い合わせください。

## 入選作品



福島市医師会長賞  
福島市立渡利小学校  
高野 詩葉 さん



福島医療生協理事長賞  
福島市立杉妻小学校  
稲田 真乃 さん



みんなの賞  
福島市立矢野目小学校  
河戸侑衣菜 さん



いいの診療所所長賞  
福島市立杉妻小学校  
柏木 萌音 さん



わたり病院院長賞  
福島市立吉井田小学校  
武井 克 さん



保健委員会委員長賞  
福島市立岡山小学校  
菅野 心結 さん



クリニックさくらみず所長賞  
福島市立矢野目小学校  
高橋 心音 さん

## おすすめ お正月料理

# 伊達巻き

(華やかでしゃれた卵料理)

わたり病院栄養科 主任 菅島 健夫

### 作り方

#### ◆下ごしらえ

- ①卵、小さくちぎったはんぺん、調味料をミキサーに入れてトロトロになるまでしっかり混ぜ合わせる。
- ②適温後、ホタル火にしたオールパンに①を流し入れる。
- ③蓋をして約10分焼く。竹串を刺して生地がついてこなければ焼き上がり。

#### ◆生地を巻く

- ④まきすを広げた上に③を焼き色を上にしておく。
- ⑤手前側に幅1〜2cmの切込みを浅く2〜3本入れる。熱いうちに手前からしっかり巻き込む。
- ⑥そのまま冷まして形を整え、約1cm幅に切って器に盛る。



材料	調味料
卵 …………… 4個	酒 …………… 大さじ1
はんぺん …… 100g	砂糖 …… 大さじ3
	みりん …… 大さじ1

## 大蔵寺の絵馬 — 描かれているのは「他山の石」か

★ふるさとの歴史探してみませんか★ 41

蓬萊支部 菅野家弘

福島市小倉寺にある大蔵寺と言え、平安時代に作られた堂々とした千手観音像(国の重要文化財指定)で知られる信達三十三観音第一番札所である。大蔵寺の観音堂には裁縫絵馬が奉納されている。写真はその内の一枚、横幅二百七十cmを超える大絵馬で七十人をこす人々が描かれている。しかし、一人だけ洋装で腰掛に座っている男、一体これは何だろう。

なんとなくユーモラスに見えるこの風景も、この年に自由民権運動への最初の弾圧事件となる福島事件が引き起こされたことを思えば、ピリピリした画像にも見えてくる。

まず言論弾圧から始まるファシズム。共謀罪など安倍政権が強引にすすめる一連の軍事化。この絵は歴史の証拠絵として見過ごせないものを訴えているといえよう。

この絵馬が奉納されたのは明治十五(一八八二)年、政府に対して国会開設など民主主義的改革を要求した自由民権運動が起こっていた時代、政府は弾圧を強めていた。八十年に大政官布告によって発布された集会条例は八十二年に強化され、一切の集会が政府の監視下に置かれることになる。この男は警察官で、裁縫教室を監視しているのである。



(写真は一部。二〇〇六年県立博物館で開かれた「布の声をきく」の企画展図録から転写しました)

## 無料 法律相談会

- 日時  
毎月第2木曜日 13:30~15:30  
※日には変更になる場合があります。
- 場所 / 医療生協わたり病院内  
事前申込制 Tel. 024-522-1236
- 相談員 / あぶくま法律事務所弁護士

組合員のみなさんからの記事を募集しております。ご意見感想、身の回りのことなどをお寄せください。素敵な作品なども大歓迎です。

● お問合せ  
福島医療生協組合員活動部  
Tel.024-522-1236

※前号第396号の「いいの川保健まつり」の文中の「飯野小」「佐藤源蔵さん」は正しくは「飯野中」「佐藤源造さん」です。申し訳ございませんでした。